

2011年度 事業報告

2011年1月1日から2011年12月31日まで

特定非営利活動法人シマフクロウ・エイド

はじめに

法人設立から4年度目は、引続き活動の基盤整備に重点を置いた。当法人の活動基盤であるシマフクロウの保護・保全・支援を進める各種調査やパトロール、給餌を継続して行いデータ等の蓄積を行った。また、それらを通して得た知識や問題点を、人材育成、環境教育、エコツアー、PR活動などの普及・啓発活動を通じて、地域や社会に還元し、町内外の賛同者や行政、企業、団体とのパートナーシップのもと、広く多くの人々にシマフクロウの存在価値や置かれている現状、保護活動への理解と関心を進め、次世代へ続く保護活動を推進した。

<各事業の概要>

I 保護・保全・支援事業

1. 給餌

1) 給餌事業

シマフクロウの繁殖を補助することを目的に、おさかな寄付で集まった資金で活きたヤマメを購入し、1月から12月までに合計9回、190kgを専用給餌池へ放流した。給餌は、2008年12月から開始以来4年度目となり、累計30回総給餌料700kgとなった。

2) 給餌のための募金活動

「おさかな寄付」の募集をホームページ、会報、入会パンフレット、雑誌等で呼びかけた結果、年合計243,000円63件が寄せられた。

2. 調査・パトロール

シマフクロウの保護・保全活動の適切かつ効果的な実施のために、繁殖行動を把握し既存の繁殖個体について継続調査し、繁殖候補地における生息確認を行い、1月から12月までのべ340日間各調査やパトロールを実施した。

- ・繁殖行動の把握、及び繁殖ペア等の継続行動調査、生息地パトロール
繁殖が確認されている地域において、成鳥、幼鳥、亜成鳥の行動を観察し、繁殖生態の理解を深め知識の蓄積を行った。また環境の変化や繁殖

に悪影響を及ぼす事項について注意を払う生息地パトロールを行い、1月から12月まで計330日間実施した。給餌池におけるシマフクロウの利用状況調査は通年行い、ほぼ毎日シマフクロウが飛来しヤマメを食べていることを確認し、繁殖期等における行動確認も行った。

- ・繁殖確認調査

繁殖が認められる地域において状況を把握する調査を7日間実施した。

- ・生息確認及び未知繁殖地の発見

生息および繁殖が確認されていない2地域で生息確認調査を3日間実施した。

- ・繁殖シーズン前に、繁殖の向上を支援する巣箱メンテナンスを実施した。

- ・調査・パトロールのための募金活動

「調査・パトロール寄付」の募集を行い、ホームページ、会報、入会パンフレット、雑誌等で呼びかけ、年合計656,690円64件が寄せられた。

- ・その他

釧路総合振興局森林室森林整備課の今年度間伐予定地において、シマフクロウの生息や繁殖への影響を確認する作業を立会いのもと行った。

- ・公益財団法人日本野鳥の会実施のシマフクロウ生息確認調査に協力した。

- ・北海道電力株式会社の協力のもと設置しているシマフクロウの感電防止バーの取り付けにあたり、浜中町内に設置する場所選定等を行った。

II 人材育成事業

- ・保護・調査に携わる担い手をホームページ等で通年募集し、問い合わせに随時個別対応した。

- ・保護・調査の担い手希望者1名に対し、生息地パトロールの実践トレーニングを4月から8月期間中28日間実施した。

III 環境教育事業

- ・町内学校へシマフクロウをテーマとした環境教育実施提案を提示した。

- ・シマフクロウと保護の取組み、地域の暮らしと自然の関係を紹介する写真展を浜中町内で開催した。浜中町教育委員会後援のもと6日間開催し、町内外の児童や大人約200名が来場し普及・啓発を推進した。

IV エコツアーリズム事業

当NPO設立当時から引き続き、会員限定のツアーを開催し、シマフクロウが直面する問題やそれに向けた保護活動への理解を推進した。ツアーは、6月

と 8 月に各 1 回実施し合計 2 名が参加した。ツアー収益の一部は、調査・パトロール費に充て、シマフクロウの保護活動に還元した。

V PR 事業

シマフクロウが直面する問題を広く多くの人に知らせ、会の支援者のすそのを広げ、自主財源を確保し、シマフクロウの暮らしを応援し人々の関心と理解を推進する以下の PR 活動に取り組んだ。

ホームページやブログによる PR

ホームページでは活動状況を毎月更新し、ブログでは生息地の多様な生物等を随時紹介し、シマフクロウや保護活動への関心と理解を深める人づくりを推進した。会員、寄付の募集は通年受けを行い、会員は法人・個人の 149 名となった。寄付は、年合計 1,200,777 円集まり用途目的別に充当した。

会報や入会パンフレット等印刷物による PR

- ・ NPO 設立当時から引き続き、会員限定で会報を毎月発行し、活動の取り組みやシマフクロウの現状とそれに向けた保護活動、関連ニュース等を紹介し、会員の関心と理解を推進した。
- ・ 入会パンフレットを、既存の設置協力先や新規設置協力先に随時配布した。
- ・ 地域住民へ普及・啓発を推進するちらしを全戸に配布し、地域の自然、文化、産業、当会の活動の関連を紹介し理解と関心を推進した。配布にあたり、浜中町役場、浜中町教育委員会、自治会の協力を得た。
- ・ パネル作成
当 NPO の保護活動を紹介し関心や理解を推進するパネルを作成し、「シマフクロウと保護の取り組み写真展」で展示した。
- ・ その他の PR 活動
新聞、雑誌、企業通信等から会の活動等について取材を受け、計 6 回対応した。